



# 教えるということ



# 明快新聞



平成二十八年七月五日発行  
明快志塾 編集部

都立高校で、指導補助的に土曜の補習授業を行なっている中で感じたこととがあります。それは、教科を教えるより先に、学習姿勢を教える必要があるということとです。学校によつては、生徒がノートを持つてこず、ルーズリーフを毎回使用しているようなところがあります。学校がそう指定しているのではなく、本人任せになつていく結果、ノートを持つてこないというスタイルになつてしまつていくので、恐らく、ノートを各教科用意するより楽だし、軽いということもあるのでしょう。ただ、そういうところでは、それがきちんとファイリングされている生徒なんてほとんどいないのです。また、そういう学校では、先生方がプリントを多用して、ノートを持つてこなくても済んでいる場合が多く、それもルーズリーフ派を増やしている要因かも知れません。個人的には、きちんと授業内容を繋げて理解出来るようにしていれば、ルーズリーフでも構わないのですが、大抵次の授業に前回のものを持つてこ

ないのです。だから、授業が繋がらなくなつてしまふ、知識として残つて生きにくくなつていくのです。そういうことも、きちんと伝えていかなければいけないと思つておられます。

## 物事への取り組み方

多くの生徒たちを指導して、出来る生徒に共通して見られるのは、どんな物事に取り組むときにも、まずやってみるのではなく、その前に内容をよく考えているということとです。英語の結果が伴わない生徒の多くが、特に何も考えずに、とりあえず字面から大抵の英語の意味を考へて日本語にしてしまつていくことが多いのです。英語にとどまらず、一体何に注意すればよいのか？というのを考へてから取り組むことができれば、もつと効率的に作業が出来ることも多いと思つてます。要するに、勢いよく計算をするという問題なのか？じっくり考へて取り組む問題なのか？というようになことを考へてみる

だけで、その出来映えは大きく変わるのではないのでしょうか？そして、それは「課題」への取り組み方にも応用出来るのではないかと、思います。個人的には、課題を全てキツチリやるのが、その人にとつて必ずしも良いことではないか？考へてはいます。自分の苦手としていく部分はより多く、自分が得意としていく部分は最低限の量で取り組んでも決して悪いものではないと思つてます。要は、「自分にとつてより良い取り組み方を考へること」が最も大切なのではないかと思つてます。

## 編集者の独り言

個人的に、ノンフィクション番組がとて好きだ。「事実」は小説よりも奇なり」といふ言葉があるように、どんな作られた物語よりも、事実は心に迫つてくる。それは、きつと、全てが人間のすることだからなのではないかと思う。人は誰でもどこかに欠けた部分を持つていて、その欠けた部分を埋めようと努力する

のだが(中にはそうしない人もいると思うが(笑))、それが埋まった瞬間に、また新たな欠けた部分が出て来る。そんなことを繰り返して生きていくのか？そして「欠けた部分を持つていくこと」を「失敗すること」と言い換えてみたらどうだろうか？人はどこかで失敗をして、その失敗を埋めようと努力するのだが、それが出来た瞬間に、また新たな失敗をしてしまふ。そんなことを繰り返して生きていくように思う。どこかかけていること、失敗をすることはそれはほど悪いことではないと思う。それを何とかしようとして足掻きながら努力し続けられるかどうか、人生は懸かっているような気が、最近している。

## ちょっと寄り道



先日、久々に新宿に繰り出した。最近では、新宿に行く程度でも、若干億劫になっている自分がある。まあ、いい加減ジジイだからしょうがない気もするが…(笑)。それは、知り合いの演劇を観に行くという用事があったからなのだが、生まれて初めて「紀伊國屋ホール」での観劇だったのだ。東京に出てきてから、何度となく紀伊國屋で本を買ったり立ち読みをしたりしたことはあった

のだが、紀伊國屋ホールに入ったことがなかったのだ。何せ演劇人にとっては、一度はその舞台に立ってみたいと思う小屋の1つなのだ。そんな舞台に立てるなんて、と思いつつ、個人的には少し期待に胸躍らせていたのだ。しかし、芝居を見終わって思ったのは、自分が期待したほど何かすごいオーラがあったとか、感動的なものがあったという感じではなかった「近さ」というか、そんなものだったような気がする。結局は、お芝居は中身、ということだろう。ちなみに、その後のお芝居をつまみにした「飲み」は、格別だった。



**これって常識？**

(問) よく使用する「ナイーブ」。英語では、日本語とは違う意味だそうです。

A君 「ゴミって決められた日に出すのが当たり前なのかい？」

B君 「お前はナイーブだな。」

さて、どんな意味なのでしょう？

高円寺でおしゃれな名入れ雑貨作ってみませんか？

皆様に元気をチャージ

CHARGE

Tシャツ・タオル・バック...etc  
CHARGEで様々なものに名前を入れて自分だけのデザインのグッズをつくれます♪

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4丁目21-2 スノーポート山崎1F  
電話 & FAX: 03-6794-8229  
http://www.fujigra.com

一人でも気軽に入れる、ごちんまりとしたアツとホームな居酒屋

オススメ、生姜串揚げ！是非ご堪能下さい♪

ご予約お待ちしております！  
TEL: 03-5373-2573

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北2-11-21 F  
営業時間: 18時~26時 定休日: 毎週火曜日

焼きとりの名門

オススメは「純けい」！しっかりと鳥の旨味が盛りません！

ご予約お待ちしております！

秋吉 中野店 TEL. 03-3385-0071

〒164-0001 東京都中野区中野5-54-3 藤田ビル1F  
営業時間: 平日17時~23:30時 祝日17時~23:00時  
月曜日(月曜が祝日の場合は営業)